

5月1日(水) 獅子の会

講演会「シャーロック・ホームズを楽しむ」⑨を実施

香取講師による「シャーロック・ホームズを楽しむ」の第9回目を実施した。

ドイルが執筆した最後のホームズ作品となった「シャスコム荘」と、ロンドンの恐喝王とホームズの対決を描く「犯人は二人」の解説があった。「犯人は二人」の作品では、恐喝された依頼人のため 恐喝王の自宅に忍び込み恐喝のネタを金庫から盗み出し燃やそうとしていた時、かつて恐喝され破滅された被害者が恐喝王を殺しに訪れ拳銃で撃ち殺し家を去った。ホームズはこれを見過ごし、恐喝のネタを燃やして立ち去る。正義が悪人を襲った犯罪、ホームズが真犯人を見逃すという作品。興味深い作品である。

今回は 獅子の会メンバー7名とゲスト7名の合計14名の参加となった。

今後の予定

6月19日(水)焼き物紀行

7月17日(水)シャーロック・ホームズを楽しむ⑩